

GA-7VAX /7VAXP
AMD Socket A プロセッサマザーボード

ユーザーズマニュアル

AMD Athlon™ / Athlon™ XP / Duron™ Socket A プロセッサマザーボード
Rev. 1101

目次

アイテムのチェックリスト	3
警告!	3
第1緒へ はじめに	4
機能のまとめ	4
GA-7VAX/7VAXPマザーボードのレイアウト	6
第2章 ハードウェアの取り付けプロセス	7
ステップ1: 中央処理装置(CPU)の取り付け	8
ステップ1-1: CPU速度のセットアップ	8
ステップ1-2: CPUの取り付け	9
ステップ1-3: CPUヒートシンクの取り付け	10
ステップ2: メモリモジュールの取り付け	11
ステップ3: 拡張カードの取り付け	12
ステップ4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源の接続 .	13
ステップ4-1: I/O 背面パネルの概要	13
ステップ4-2: コネクタの概要	15



本書の修正については、英語版に従ってください。

アイテムのチェックリスト

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> GA-7VAX/GA-7VAXPマザーボード | <input checked="" type="checkbox"/> RAIDマニュアル* |
| <input checked="" type="checkbox"/> IDEケーブル x 1/ フロッピーケーブル x 1 | <input checked="" type="checkbox"/> 4ポートUSBケーブル x 1 |
| <input checked="" type="checkbox"/> IDEケーブル x 2* | <input checked="" type="checkbox"/> オーディオコンボブラケット x1* |
| <input checked="" type="checkbox"/> マザーボードドライバとユーティリティ
用CD(ドライバCD) | <input checked="" type="checkbox"/> IEEE 1394ケーブル x1* |
| <input checked="" type="checkbox"/> GA-7VAX/GA-7VAXPユーザーズマニュアル | <input type="checkbox"/> センター/サブウーファケーブル x1
(サラウンドキット) |
| <input checked="" type="checkbox"/> I/Oシールド | <input checked="" type="checkbox"/> マザーボード設定ラベル |
| <input checked="" type="checkbox"/> クイックPCインストールガイド | |



警告!

コンピュータマザーボードと拡張カードには、きわめて繊細な集積回路(IC)チップが含まれています。これが静電気によって破損しないように、コンピュータを操作するときは常にいくつかの注意事項に従う必要があります。

1. 内部を操作するときは、コンピュータのプラグを抜く。
2. コンピュータのコンポーネントを扱う前にアースされたリストストラップを使用します。お持ちでない場合は、安全にアースされた物体や、電源装置のケースなどの金属物体に両手を触れてください。
3. コンポーネントの端をつかみ、I C チップ、リード線やコネクタ、またはその他のコンポーネントに触れないようにしてください。
4. コンポーネントをシステムから離すとき、コンポーネントは、アースされた静電気防止パッドやコンポーネントに付属するバッグの上に置いてください。
5. ATXの電源コネクタをマザーボードに取り付けるとき、または取り外すときは、ATX電源装置の電源がオフになっていることを確認してください。

マザーボードをシャーシに取り付ける

マザーボードの取り付け穴と基板の穴の位置が合わず、スペーサーを固定するスロットがなくとも心配しないでください。スペーサーの底の部分を切り取って、取り付け穴に挿入してください。スペーサーは少し硬くて切り取りにくいので、指を切らないように注意してください。こうすれば回路のショートを心配せずにマザーボードを基板に固定できます。回路の配線が穴に近いところでは、マザーボードのPCBの表面とネジにすき間を置くためプラスチックのパネを使用しなければならない場合があるかもしれません。その場合、ネジがプリント基板の配線またはネジ穴付近のPCBの部分に接触しないよう注意してください。ボードを傷つけたり、故障の原因になったりすることがあります。

*** FOR GA-7VAXPのみ。

第1章 はじめに

機能のまとめ

フォームファクタ マザーボード	<ul style="list-style-type: none"> 30.5cm x 23.4cm ATXサイズのフォームファクタ、4層PCB。 GA-7VAX/GA-7VAXPマザーボード
CPU	<ul style="list-style-type: none"> ソケットA プロセッサ AMD Athlon™/Athlon™ XP/ Duron™ (K7) 128K L1 & 256K/64K L2 キャッシュオンダイ 200/266/333^{<注1>} MHz FSB and DDRのバス速度 1.4GHz以上をサポート
チップセット	<ul style="list-style-type: none"> VIA KT400 メモリ/AGP/PCIコントローラ(PAC) VIA VT8235統合周辺コントローラ(PSIPC)
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> 3 184ピンDDRソケット DDR DRAM PC1600/PC2100/PC2700/PC3200^{<注2>}をサポート 3.0GB DDR (最大)をサポート 2.5V DDR DIMMのみをサポート
I/Oコントロール スロット	<ul style="list-style-type: none"> IT8705 1 AGPスロットが8X/4X/2Xモード(1.5V) & AGP 3.0 準拠をサポート 5 PCIスロットが33MHz & PCI 2.2準拠をサポート
オンボードIDE	<ul style="list-style-type: none"> 2 IDEコントローラがPIO、バスマスタ(Ultra DMA33/ATA66/ATA100/ATA133)操作モードでIDE HDD/CD-ROM (IDE1, IDE2)を提供。 RAID, Ultra ATA133/100, EIDEでIDE3*とIDE4*に準拠
オンボード周辺装置	<ul style="list-style-type: none"> 1フロッピーポートが360K、720K、1.2M、1.44M、2.88Mバイトで2 FDDをサポート 1パラレルポートが標準/EPP/ECPモードをサポート 2シリアルポート(COMA & COMB) 6 x USB 2.0/1.1 (ケーブルによる4) 3 x IEEE1394 ケーブルによる * IR用1 IrDA コネクタ
ハードウェアモニタ	<ul style="list-style-type: none"> CPU/システムファン回転の検出 CPU/システム温度の検出 システム電圧の検出 熱停止機能
オンボードサウンド	<ul style="list-style-type: none"> Realtek ALC650 CODEC ラインアウト / 2 フロントスピーカー ラインイン / 2 リアスピーカー(s/wスイッチによる) マイクイン / センター&サブウーファ(s/wスイッチによる) SPDIF アウト / SPDIF イン CD イン / AUX イン / ゲームポート

続く.....

<注 1> FSB333 MHzはDDR333 DIMMモジュールのみをサポート。

<注 2> PC3200は確認したように、Micro, Samsung, Apacer DDRモジュールによるのみサポート。詳細はP.103を参照。

*** GA-7VAXPのみ

GA-7VAX/GA-7VAXPマザーボード

オンボードUSB 2.0	• 内蔵VIA VT8235チップセット
オンボードRAID*	<ul style="list-style-type: none"> • オンボードPromise PDC20276 • データストライピング(RAID 0)またはミラリング (RAID 1)のサポート • 同時デュアルIDEコントローラ操作のサポート • IDEバスマスタ操作のサポート • 起動中にステータスとエラーチェックメッセージを表示 • ミラリングが自動背景再構築のサポート • コントローラオンボードBIOSにLBAと拡張割り込み13ドライブ変換を特色とする
オンボードLAN	• RealTek RTL8100BL
オンボードIEEE1394 *	• VT6306
オンボードMS,SD,SC *	• Winbond SMART @I/Oチップセット(メモリスティック、セキュリティデジタルおよびスマートカードリーダー)
PS/2コネクタ	• PS/2キーボードインターフェイスおよび PS/2マウスインターフェイス
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> • Licensed Award BIOS, 2MビットフラッシュROM • デュアルBIOS /Q-フラッシュのサポート
追加機能	<ul style="list-style-type: none"> • パスワードによるPS/2キーボードの電源オン、PS/2マウスの電源オン • ウェークオンリング(WOR) • STR(サスペンドからRAM) • ウェークオンLAN (WOL) • AC回復 • キーボード 過電流保護用のポリエステルヒューズ • S3からUSB KB/マウスの電源オン • @BIOSのサポート • EasyTune 4のサポート
オーバークロック	<ul style="list-style-type: none"> • BIOSによる過電圧(DDR/AGP/CPU) • BIOSによるオーバークロック(DDR/AGP/CPU/PCI)

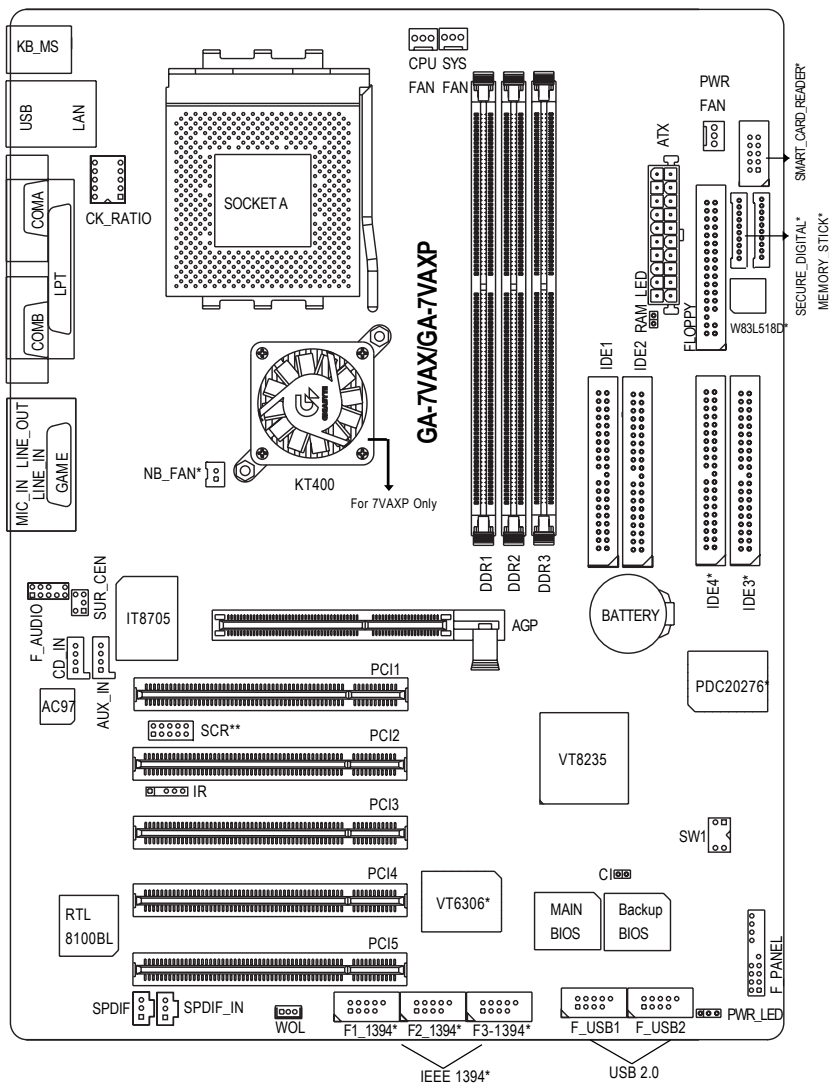


プロセッサの仕様に従ってCPUのホスト周波数を設定してください。CPUの仕様を超えるシステムバス周波数はCPU チップセット、ほとんどの周辺装置の標準仕様ではないため、設定しないようにお勧めします。システムがこれらの特定のバス周波数のもとで適切に動作するかどうかは、CPU、チップセット、SDRAM、カードなどのハードウェア構成によります。

*** FOR GA-7VAXPのみ

GA-7VAX/GA-7VAXP マザーボードのレイアウト

日本語



*** GA-7VAXPのみ

**** GA-7VAXのみ

第2章 ハードウェアの取り付けプロセス

コンピュータをセットアップするには、次のステップを完了する必要があります。

ステップ1-ディップスイッチ(CK_RATIO)とシステムスイッチ(SW1)を設定する

ステップ2- 中央処理装置 (CPU)を取り付ける

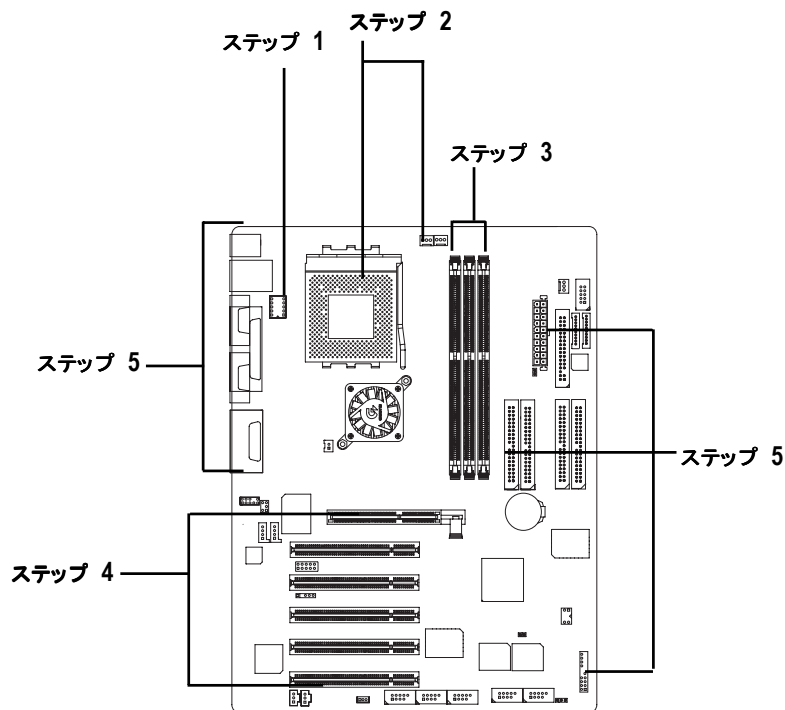
ステップ3-メモリモジュールを取り付ける

ステップ4-拡張カードを取り付ける

ステップ5-リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置を接続する

ステップ6-BIOSソフトウェアをセットアップする

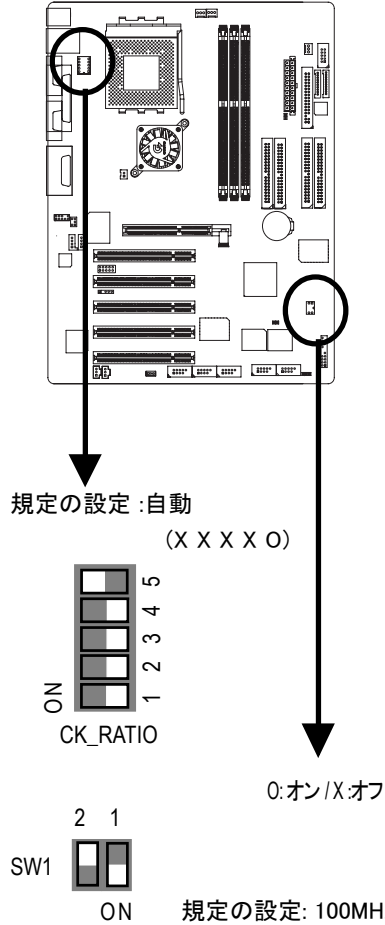
ステップ7-サポーターソフトウェアツールを取り付ける



ステップ1：中央処理装置(CPU)の取り付け

ステップ1-1：CPU速度のセットアップ

クロック比はCLK_RATIOによって切り替えられます。下の表を参照してください。



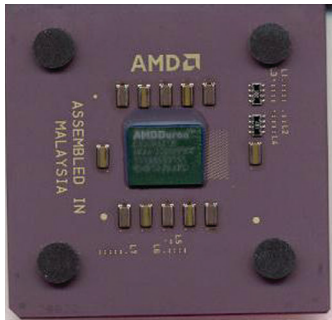
CLK_RATIO O: ON / X:OFF

比	1	2	3	4	5
自動(規定値)	X	X	X	X	O
5x	O	O	X	O	X
5.5x	X	O	X	O	X
6x	O	X	X	O	X
6.5x	X	X	X	O	X
7x	O	O	O	X	X
7.5x	X	O	O	X	X
8x	O	X	O	X	X
8.5x	X	X	O	X	X
9x	O	O	X	X	X
9.5x	X	O	X	X	X
10x	O	X	X	X	X
10.5x	X	X	X	X	X
11x	O	O	O	O	X
11.5x	X	O	O	O	X
12x	O	X	O	O	X
>=12.5x	X	X	O	O	X

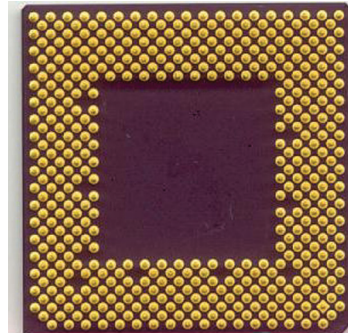
システムバス周波数はシステムスイッチ (SW1)を調整することで、100/133/166MHzで切り替えることができます。(内部周波数はCPUに依存します)

SW1	CPUクロック		
	100MHz	133MHz	166MHz
1	オン	オフ	オフ
2	オフ	オフ	オン

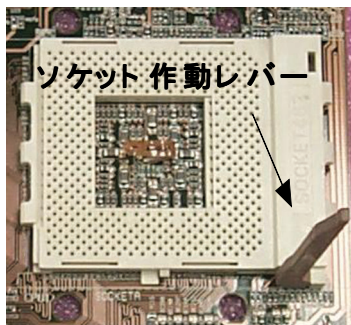
ステップ1-2: CPUの取り付け



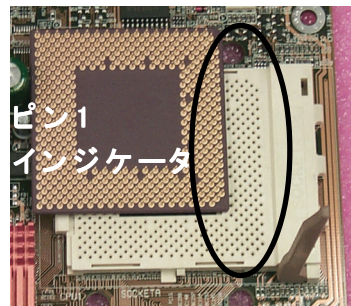
CPU 上面ビュー



CPU 底面ビュー



1. CPUのソケットレバーを手前に引き、90度まで持ち上げます。

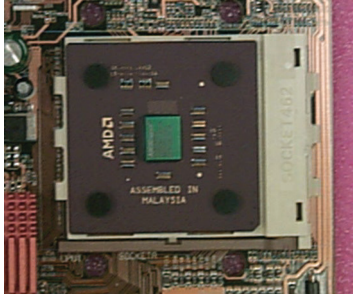


2. ソケットのピン1を探し、CPUに(金色の)カットエッジを見つけます。その後、CPUをソケットに差し込みます。

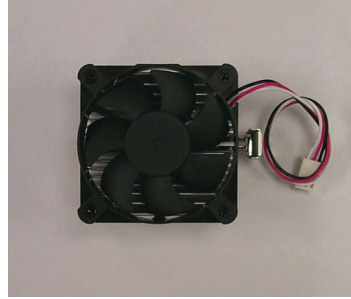
日本語

- CPUのタイプがマザーボードによってサポートされていることを確認してください。
- CPUソケットピン1とCPUカットエッジがうまく合わない場合、取り付けが正しくありません。挿入方向を変えてください。

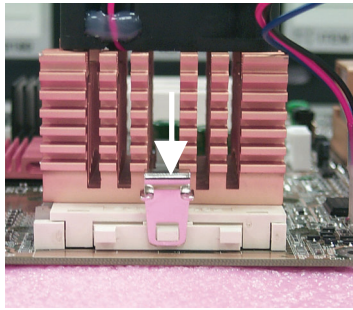
ステップ1-3: CPUヒートシンクの取り付け



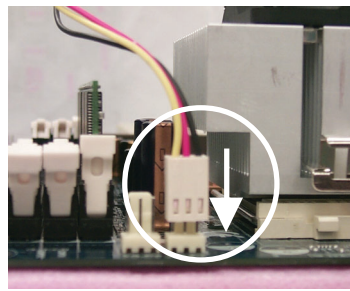
1. CPUのソケットレバーを押し下げ、CPUの取り付けを完了します。



2. AMDが認証するファンを使用してください。



3. メインボードのCPUソケットにあるヒートシンクサポート台をしっかり締めます。



4. CPUファンがCPUファンコネクタに差し込まれていることを確認すると、取り付けは完了です。

- * Intelが承認したクーリングファンをご使用ください。
- * CPUとヒートシンク間の熱伝導を向上させるために、感熱糊を使用することをお勧めします。
- * CPUファンの電源ケーブルがCPUファンコネクタに差し込まれていることを確認してください。これで、取り付けは完了です。
- * 詳細な取り付け手順については、CPUヒートシンクユーザーズマニュアルを参照してください。

ステップ2：メモリモジュールの取り付け

マザーボードには3つのデュアルインラインメモリモジュール(DIMM)ソケットが搭載されています。メモリモジュールを取り付けるには、DIMMスロットに垂直に差し込みます。

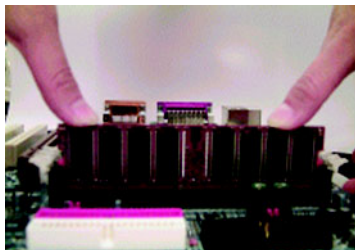
DIMMモジュールは、ノッチが2つあるため一方にしかフィットしません。メモリサイズはソケットにより異なります。

バッファなしDDR DIMMを搭載した全メモリサイズ

DIMMで使用するデバイス		1 DIMMx64/x72	2 DIMMsx64/x72
3 DIMMsx64/x72			
64 Mbit (2Mx8x4ノック)	128 MBytes	256 MBytes	384 MBytes
64 Mbit (1Mx16x4ノック)	64 MBytes	128 MBytes	192 MBytes
128 Mbit (4Mx8x4ノック)	256 MBytes	512 MBytes	768 MBytes
128 Mbit (2Mx16x4ノック)	128 MBytes	256 MBytes	384 MBytes
256 Mbit (8Mx8x4ノック)	512 MBytes	1 GBytes	1.5 GBytes
256 Mbit (4Mx16x4ノック)	256 MBytes	512 MBytes	768 MBytes
512 Mbit (16Mx8x4ノック)	1 GBytes	2 GBytes	3 GBytes
512 Mbit (8Mx16x4ノック)	512 MBytes	1 GBytes	1.5 GBytes



DDR



1. DIMMスロットにはノッチがあるため、DIMMメモリモジュールは1方向にしかフィットできません。
 2. DIMMメモリをDIMMスロットに垂直に差し込みます。それから、押し下げてDIMMモジュールをロックしてください。
- * DIMMモジュールを取り外したいときは、取り付けて順の逆を行います。

- * STR/DIMM LEDがオンになっているとき、ソケットからDIMMの取り付け/取り外しは行わないでください。
- * DIMMモジュールは2つあるノッチにより1方向にしかフィットしないことにご注意ください。方向を間違えると正しく取り付けられません。挿入方向を変えてください。

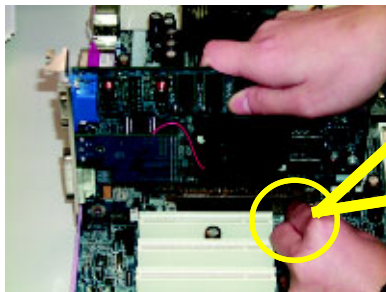
DDRの概要

既存のSDRAM業界インフラストラクチャで確立されたDDR(ダブルデータ転送速度)メモリは、性能とコストパフォーマンスが高いため、メモリベンダー、OEM、システム統合者が容易に採用することができます。

DDRメモリは既存のSDRAMインフラストラクチャを構築しているPC業界には実際的で革命的なソリューションですが、さらにメモリ帯域幅を2倍にすることにより、システム性能のボトルネックを解決する上で大きな進歩を成し遂げています。DDR SDRAMはその可用性、価格設定、全体的な市場サポートにより、既存のSDRAM設計から優れたソリューションと移動バスを提供します。PC2100 DDRメモリ(DDR266)はクロックの立上がりおよび立下りでの読み書きを通して、データ転送速度を2倍に高めることにより、同じDRAMクロック周波数で実行するとき、PC133より2X大きいデータ帯域幅を達成しています。毎秒2.1GBのピーク帯域幅を使うことで、DDRメモリはシステムOEMがサーバー、ワークステーション、高性能PC、お得なデスクトップSMAシステムにふさわしい、高い性能と低い冗長のDRAMサブシステムを構築できるようにしています。従来のSDRAMの3.3ボルトに比べ、わずか2.5ボルトのコア電圧により、DDRメモリは小さなフォームファクタのデスクトップとノートブック用途にとって魅力的なソリューションとなっています。

ステップ3: 拡張カードの取り付け

1. コンピュータに拡張カードを取り付ける前に、関連する拡張カードの説明書をよくお読みください。
2. コンピュータからコンピュータのシャーシカバー、必要なネジ、スロットブラケットを取り外します。
3. 拡張カードをマザーボードの拡張スロットにしっかり押し込みます。
4. カードの金属結合部がスロットに固定されていることを確認します。
5. ネジを再び取り付けて、拡張カードのスロットブラケットを締付けます。
6. コンピュータのシャーシカバーを元に戻します。
7. コンピュータの電源をオンにし、必要に応じて、BIOSから拡張カードのBIOSユーティリティをセットアップします。
8. オペレーティングシステムから関連するドライバをインストールします。

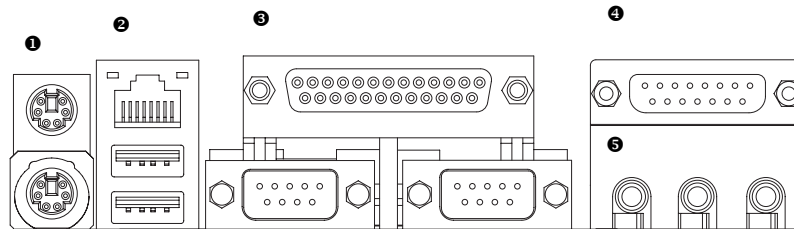


AGPカード

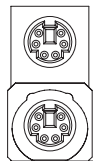
AGPカードの取り付け/取り外しを試みるときに、AGPスロットの端にある小さな白い引き抜き可能バーを注意深く引き出してください。オンボードAGPスロットとAGPカードの位置を合わせ、スロットにしっかりと押し込みます。AGPカードが小さな白い引き抜き可能バーによってロックされていることを確認します。

ステップ4 : リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続

ステップ4-1 : I/O 背面パネルの概要



❶ PS/2キーボードと PS/2マウスコネクタ

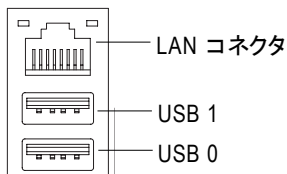


PS/2 マウスコネクタ
(6ピンメス)

PS/2 キーボードコネクタ
(6ピンメス)

➤ このコネクタは標準のPS/2 キーボードとPS/2マウスをサポートします。

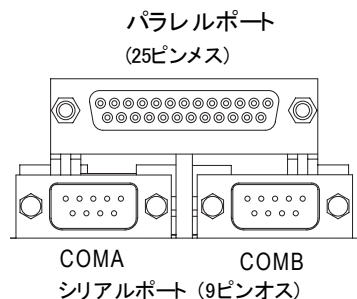
❷ USB/LANコネクタ



➤ デバイスをUSBコネクタに接続する前に、U S B キーボード、マウス、スキャナ、ZIP、スピーカーなどのデバイスが標準のU S B インターフェイスを持っていることを確認してください。また、OSがUSBコントローラをサポートしていることも確認してください。OSがコントローラをサポートしていない場合、OSベンダーに連絡してパッチまたはドライバの更新を行ってください。詳細については、O S またはデバイスのベンダーにお問い合わせください。

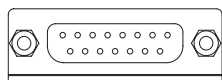
*** GA-7VAXPのみ

③ パラレルポート、VGAポート、シリアルポート（COMA）



- このコネクタは2つの標準COMポートと1つのパラレルポートをサポートしています。プリンタのようなデバイスは、パラレルポートに接続できます。マウスやモデムなどはシリアルポートに接続できます。

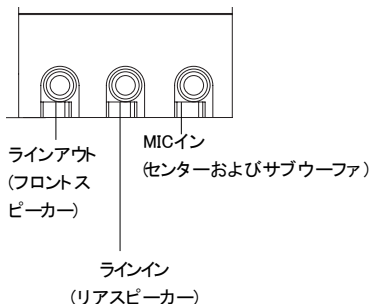
④ ゲーム / MIDIポート



ジョイスティック / MIDI (15ピンメス)

- このコネクタはジョイスティック、MIDI キーボード、その他の関連オーディオデバイスをサポートしています。

⑤ オーディオコネクタ



- オンボードのオーディオドライバをインストールした後、スピーカーをラインアウトジャック、マイクをMICインジャックに接続することができます。CD-ROM、ウォークマンなどのデバイスはラインインジャックに接続することができます。

注:


S/W 接続により、2-/4-/6-チャンネルオーディオ機能を使用することができます。6チャンネル機能を有効にしたい場合、2つのハードウェア接続から選択することができます。

方式1:

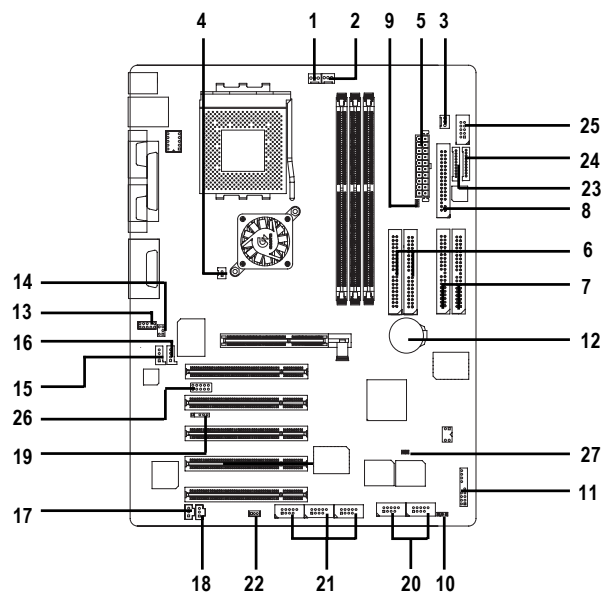
- 「フロントスピーカー」を「ラインアウト」に接続
- 「リアスピーカー」を「ラインイン」に接続
- 「センターとサブウーファ」を「MICアウト」に接続

方式2:

オプションのSUR_CENケーブルについては、19ページを参照し、最寄りの販売店にお問い合わせください。

 **2 - / 4 - / 6 - チャンネルのオーディオセットアップインストールに関する詳細な情報をお望みの場合、2 - / 4 - / 6 - チャンネルのオーディオ機能の概要を参照してください。**

ステップ-2 : コネクタの概要



1) CPU_FAN	15) CD_IN
2) SYS_FAN	16) AUX_IN
3) PWR_FAN	17) SPDIF
4) NB_FAN*	18) SPDIF-IN
5) ATX_POWER	19) IR
6) IDE1/IDE2	20) F_USB1/F_USB2
7) IDE3*/IDE4*	21) F1_1394/F2_1394/F3_1394 *
8) FDD	22) WOL
9) RAM_LED	23) SECURE_DIGITAL *
10) F_PANEL	24) MEMORY_STICK *
11) PWR_LED	25) SMART_CARD_READER *
12) BATTERY	26) SCR **
13) F_AUDIO	27) CI
14) SUR_CEN	

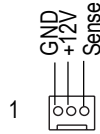
*** GA-7VAXPのみ

**** GA-7VAXのみ

日本語

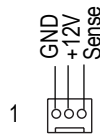
1)CPU_FAN (CPUファンコネクタ)

➤ CPUが過熱により異常状態で動作したり破損から守るには、CPUクーラーの適切な取り付けが不可欠であることにご注意ください。CPUのファンコネクタは最高600 mAまでの電流をサポートします。



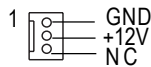
2)SYS_FAN (システムファンコネクタ)

➤ このコネクタにより、システムケースにクーリングファンを接続してシステムの温度を下げるすることができます。



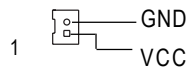
3)PWR_FAN (電源ファンコネクタ)

➤ このコネクタにより、システムケースにクーリングファンを接続してシステムの温度を下げるすることができます。



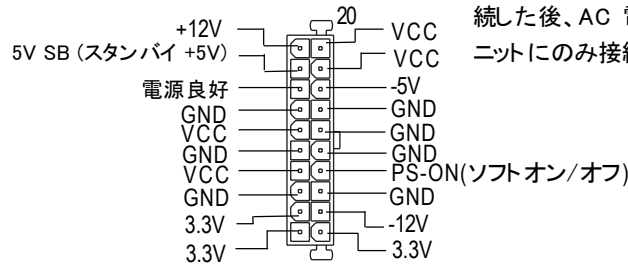
4)NB_FAN*

➤ 間違った方向に取り付けると、チップファンは動作しません。チップfanFが破損することもあります(通常、黒いケーブルはGNDです)。



5)ATX_POWER (ATX電源)

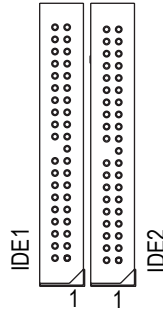
➤ ATX電源ケーブルとその他の関連するデバイスをメインボードにしっかり接続した後、AC電源コードは電源ユニットにのみ接続できます。



1

6)IDE1/ IDE2 (IDE1/IDE2 コネクタ) > 重要な通知:

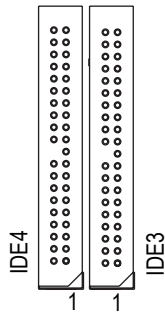
最初のハードディスクはI D E 1 に、
CDROMはIDE2に接続してください。
リボンケーブルの赤い紐はPin1と同じ
側にある必要があります。



7)IDE3/IDE4コネクタ * (RAID/ATA133、緑のコネクタ)

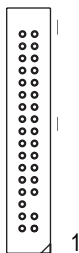
😊 重要な通知:

1. リボンケーブルの赤い紐はPin1と同じ側にある必要があります。
2. IDE3とIDE4を使用したい場合、BIOSとともに使用してください (RAIDまたはATA133)。その後、正しいドライバをインストールすると、適切な動作を行います。詳細については、RAIDのマニュアルを参照してください。



8)FDD (フロッピーコネクタ)

- > フロッピードライブのリボンケーブルは、FDDに接続してください。これは、360K、720K、1.2M、1.44M、2.88Mbytesのフロッピーディスクのタイプをサポートします。
リボンケーブルの赤い紐は、Pin1と同じ側にある必要があります。



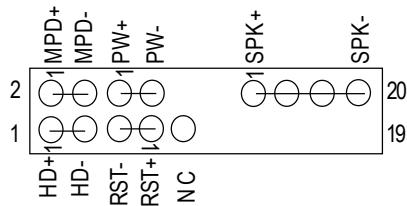
*** GA-7VAXPのみ

9)RAM_LED



- DIMM LEDがオンになっている間は、メモリモジュールを取り外さないください。2.5Vのスタンバイ電圧により、ショートしたりその他の予期せぬ損傷を受ける原因となります。メモリモジュールの取り外しは、AC電源コードを抜いているときのみ行ってください。

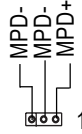
10)F_PANEL (2x10 ピンコネクタ)



HD (IDEハードディスク アクティブLED)	Pin 1: LED 陽極(+) Pin 2: LED 陰極(-)
SPK (スピーカーコネクタ)	Pin 1: VCC(+) Pin 2- Pin 3: NC Pin 4: データ(-)
RST(リセットスイッチ)	開く: 標準操作 閉じる: ハードウェアシステムのリセット
PW (ソフトによる電源コネクタ)	開く: 標準操作 閉じる: 電源オン/オフ
MPD(メッセージLED/電源/ スリープLED)	Pin 1: LED 陽極(+) Pin 2: LED 陰極(-)
NC	NC

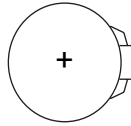
- 上のピン割当に従って、シャーシフロントパネルの電源LED、PC、スピーカー、リセットスイッチ、電源スイッチなどをF_PANELコネクタに接続してください。

11)PWR_LED



- PWR_LEDをシステムの電源インジケータに接続すると、システムがオン/オフになっているかが示されます。システムがサスペンドモードになっていると、点滅します。デュアルカラーLEDをご使用の場合、電源LEDは他の色で点灯します。

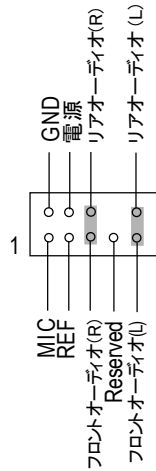
12)BATTERY (電池)



注意

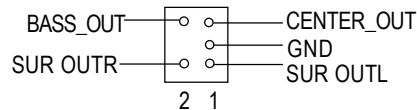
- ❖ 電池を正しく入れないと爆発する危険があります。
- ❖ 電池を交換する際は、メーカーが推奨する電池と同じものか同等なものだけを使用するようにしてください。
- ❖ 使用済み電池はメーカーの指示に従って処分してください。

13)F_AUDIO (F_AUDIO コネクタ)



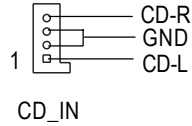
- フロントオーディオコネクタを使用したい場合、5-6, 9-10ジャンパを取り外す必要があります。フロントオーディオヘッドを利用するには、シャーシにフロントオーディオコネクタが装備されている必要があります。また、ケーブルのピン割当がM Bヘッドのピン割当と同じであるか確認してください。お求めになったシャーシがフロントオーディオコネクタをサポートしているかどうかを調べるには、販売店にお問い合わせください。

14) SUR_CEN



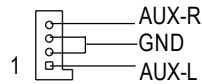
- オプションのSUR_CENケーブルについては、最寄りの販売店にお問い合わせください。

15)CD_IN (CDイン)



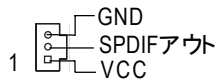
➤ CD-ROMまたはDVD-ROMオーディオアウトは、コネクタに接続してください。

16)AUX_IN (AUX インコネクタ)



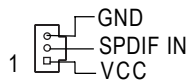
➤ (PCI TVチューナーのオーディオアウトなどの)その他のデバイスは、コネクタに接続してください。

17)SPDIF (SPDIFアウト)



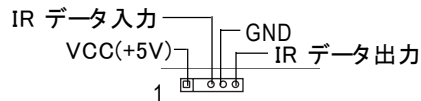
➤ SPDIF出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、圧縮されたAC3データを外部Dolbyデジタルでコーデックに提供することができます。この機能は、ステレオシステムがデジタル入力機能を搭載しているときのみ使用してください。

18)SPDIF_IN



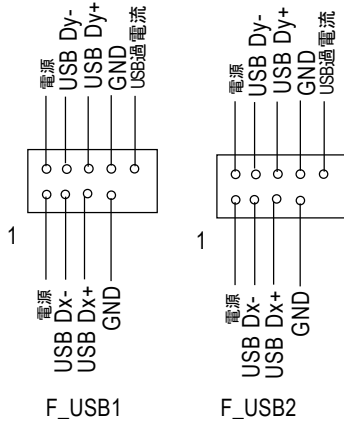
➤ この機能は、デバイスがデジタル出力機能を搭載しているときのみ使用してください。

19)IR



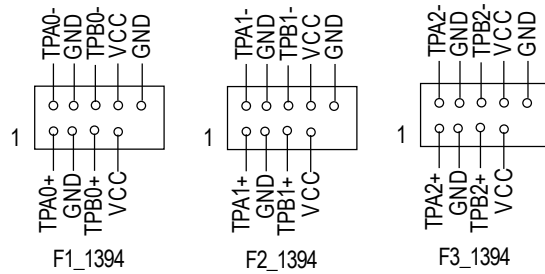
➤ IRを接続する間、IRコネクタの極性に注意してください。オプションのIRデバイスについては、最寄りの販売店にお問い合わせください。

**20) F_USB1 / F_USB2
(フロントUSBコネクタ、黄)**



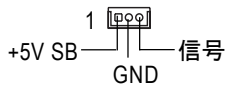
➤ USBコネクタの極性にご注意ください。フロントUSBケーブルを接続している間、ピン割当をチェックしてください。
オプションのフロントUSBケーブルについては、最寄りの販売店にお問い合わせください。

21) F1_1394/F2_1394/F3_1394(IEEE1394コネクタ、グレイのコネクタ)*



➤ **注意:** 米国電気電子技術者協会(Institute of Electrical and Electronics Engineers) が設定したシリアルインターフェイス標準で、高速、高帯域幅、ホットプラグのような機能を持っています。

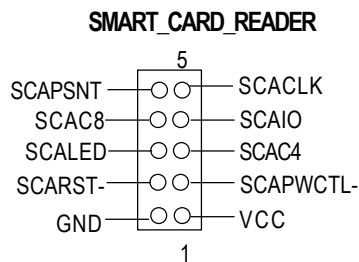
22) WOL(ウェークオンLAN)



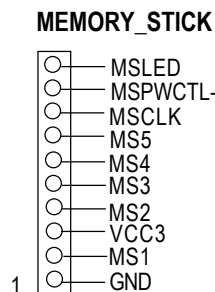
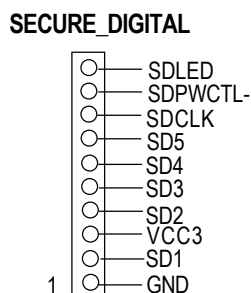
➤ このコネクタにより、サーバーを取り除き、WOLもサポートするネットワークアダプタを介してこのメインボードに取り付けられたシステムを管理することができます。

*** GA-7VAXPのみ

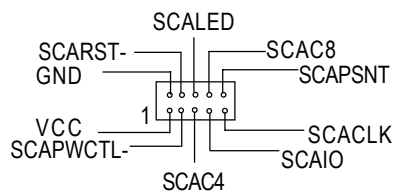
- 23) MEMORY_STICK(メモリスティックインターフェイス、白いコネクタ) *
- 24) SECURE_DIGITAL(セキュアデジタルメモリーカードインターフェイス、赤いエキサイドコネクタ) *
- 25) SMART_CARD_READER(スマートカードインターフェイス、黒いコネクタ) *



➤ デバイスを展開すると、S D (セキュリティデジタル)、MS (メモリスティック)、スマートカードリーダーのコネクタなどのフラッシュメモリを読み取ることができます。スマートICカードは、オンライン取引を認証する際にセキュリティを高めることができます。サードパーティが製作したカードリーダーのデバイス (最寄りの代理店にお問い合わせください) は、ユーザーの方でお求めください。

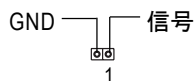


26) S C R (スマートカードリーダーヘッダ、黒いコネクタ) **



➤ このMBはスマートカードリーダーをサポートします。スマートカードリーダーの機能を有効にするには、オプションのスマートカードリーダーボックスが必要になります。公認の代理店にお問い合わせください。

27) CI (CASE OPEN)



➤ この 2ピンコネクタにより、お使いのシステムは、システムのケースを取り外すとき、BIOSの塔Pースオープン買Aアイテムの有効/無効を切り替えることができます。

***GA-7VAXPのみ

**** GA-7VAXのみ